



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 森組  
コード番号 1853 URL <https://www.morigumi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 黒飛 勝之

TEL 06-6201-5898

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,150	32.0	269	81.1	277	80.4	181	81.2
2019年3月期第2四半期	16,386	9.7	1,423	13.5	1,419	13.4	964	13.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	5.55	
2019年3月期第2四半期	29.46	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	22,952	11,546	50.3	352.57
2019年3月期	26,487	11,912	45.0	363.75

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,546百万円 2019年3月期 11,912百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				16.00	16.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期の期末配当金の内訳は、普通配当14円00銭、創業120周年記念配当2円00銭であります。

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	18.7	1,140	63.8	1,150	63.5	770	64.7	23.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	32,800,000 株	2019年3月期	32,800,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	50,302 株	2019年3月期	50,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	32,749,698 株	2019年3月期2Q	32,749,733 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
3. 補足情報 .....	10
四半期受注の概況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益が一進一退の動きをみせつつも高水準を維持しており、設備投資は増加基調が持続、さらには雇用・所得環境の改善が続かなか、個人消費は堅調に推移しました。しかしながら、米中貿易摩擦問題の長期化や中東情勢の緊迫化、日韓関係の悪化などの影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

建設業界におきましては、公共建設投資が底堅く推移しているものの、民間の住宅建設投資は消費増税前の駆け込みの影響から伸び悩みがみられます。また、建設技術者及び技能労働者不足は解消されておらず、人手不足による労働単価の上昇や原材料価格の高騰などの不安要素は依然として残り、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当第2四半期累計期間における工事受注高は10,433百万円（前年同四半期比15.3%減）となり、売上高11,150百万円（前年同四半期比32.0%減）、営業利益269百万円（前年同四半期比81.1%減）、経常利益277百万円（前年同四半期比80.4%減）、四半期純利益181百万円（前年同四半期比81.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (建設事業)

建設事業におきましては、受注高10,433百万円（前年同四半期比15.3%減）、売上高10,705百万円（前年同四半期比32.2%減）、セグメント利益706百万円（前年同四半期比61.1%減）となりました。

## (不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高17百万円（前年同四半期比19.2%増）、セグメント利益5百万円（前年同四半期比494.3%増）となりました。

## (碎石事業)

碎石事業におきましては、売上高426百万円（前年同四半期比27.7%減）、セグメント利益29百万円（前年同四半期比37.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比3,534百万円減少の22,952百万円となりました。この主な要因は、現金預金273百万円の増加と、受取手形・完成工事未収入金4,083百万円の減少等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比3,168百万円減少の11,406百万円となりました。この主な要因は、未成工事受入金1,087百万円の増加と、支払手形・工事未払金等3,241百万円の減少等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比366百万円減少の11,546百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益181百万円の計上による増加と、配当金の支払いによる523百万円の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は50.3%（前事業年度末は45.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末比273百万円増加の10,008百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は914百万円（前年同四半期は資金の減少2,284百万円）となりました。これは主に仕入債務の減少、法人税等の支払いによる資金の減少に対し、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少及び未成工事受入金の増加による資金の増加が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は111百万円（前年同四半期は資金の減少32百万円）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入に対し、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出が上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は529百万円（前年同四半期は資金の減少435百万円）となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績動向及び今後の見通しを勘案し、2019年5月14日に公表しました通期の業績予想を修正しております。詳しくは2019年11月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、これらの予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	9,735	10,008
受取手形・完成工事未収入金	12,446	8,363
売掛金	226	180
未成工事支出金	20	15
たな卸不動産	0	0
商品及び製品	2	13
仕掛品	—	1
材料貯蔵品	45	49
その他	1,230	1,507
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	23,701	20,133
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物	1,110	1,111
機械、運搬具及び工具器具備品	1,878	1,910
土地	862	862
リース資産	114	104
減価償却累計額	△2,194	△2,247
有形固定資産合計	1,770	1,740
無形固定資産	42	53
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	353	327
長期貸付金	22	19
前払年金費用	392	526
繰延税金資産	51	—
その他	166	164
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	971	1,025
固定資産合計	2,785	2,818
資産合計	26,487	22,952

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	10,401	7,159
短期借入金	900	900
未払法人税等	846	35
未成工事受入金	797	1,884
完成工事補償引当金	200	135
工事損失引当金	16	25
賞与引当金	219	240
その他	1,171	978
流動負債合計	14,552	11,358
固定負債		
繰延税金負債	—	31
その他	21	16
固定負債合計	21	47
負債合計	14,574	11,406
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	202	202
利益剰余金	10,036	9,694
自己株式	△4	△4
株主資本合計	11,874	11,531
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38	14
評価・換算差額等合計	38	14
純資産合計	11,912	11,546
負債純資産合計	26,487	22,952

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	15,780	10,705
碎石事業売上高	590	426
不動産事業売上高	14	17
売上高合計	16,386	11,150
売上原価		
完成工事原価	13,712	9,709
碎石事業売上原価	518	375
不動産事業売上原価	13	12
売上原価合計	14,245	10,096
売上総利益		
完成工事総利益	2,068	996
碎石事業総利益	71	51
不動産事業総利益	1	5
売上総利益合計	2,141	1,053
販売費及び一般管理費	717	784
営業利益	1,423	269
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	6
受取事務手数料	2	2
固定資産売却益	5	5
雑収入	3	2
営業外収益合計	17	17
営業外費用		
支払利息	17	7
支払手数料	2	0
雑支出	1	0
営業外費用合計	21	8
経常利益	1,419	277
税引前四半期純利益	1,419	277
法人税、住民税及び事業税	270	12
法人税等調整額	184	84
法人税等合計	454	96
四半期純利益	964	181



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,419	277
減価償却費	65	69
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	16	8
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△144	△134
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	17	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,008	4,128
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	0	0
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△60	5
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	392	1,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	626	△3,241
未払又は未収消費税等の増減額	△1,697	△427
その他	△54	△83
小計	△2,434	1,691
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△17	△7
法人税等の支払額	△16	△775
法人税等の還付額	178	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,284	914
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△45	△105
有形固定資産の売却による収入	5	6
投資有価証券の売却による収入	17	—
無形固定資産の取得による支出	△12	△14
長期貸付金の回収による収入	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32	△111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△204	—
リース債務の返済による支出	△15	△9
セール・アンド・リースバックによる収入	12	—
配当金の支払額	△227	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435	△529
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,751	273
現金及び現金同等物の期首残高	9,353	9,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,602	10,008

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	15,780	14	590	16,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4
計	15,780	14	595	16,390
セグメント利益	1,813	0	47	1,862

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,862
全社費用(注)	△439
四半期損益計算書の営業利益	1,423

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	10,705	17	426	11,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	0	0
計	10,705	17	426	11,150
セグメント利益	706	5	29	741

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	741
全社費用（注）	△472
四半期損益計算書の営業利益	269

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期受注の概況

(1) 受注実績

項目	受注高	
2020年3月期第2四半期累計期間	10,433百万円	△15.3%
2019年3月期第2四半期累計期間	12,320百万円	△3.4%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②海外受注高はありません。

③パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

項目			前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		比較増減	増減率
			金額	構成比	金額	構成比		
建設	土木	官公庁	3,682	29.9%	5,345	51.2%	1,663	45.2%
		民間	7	0.1%	△20	△0.2%	△28	—
		計	3,689	30.0%	5,325	51.0%	1,635	44.3%
事業	建築	官公庁	236	1.9%	567	5.5%	331	140.0%
		民間	8,394	68.1%	4,540	43.5%	△3,853	△45.9%
		計	8,630	70.0%	5,107	49.0%	△3,522	△40.8%
業	計	官公庁	3,918	31.8%	5,913	56.7%	1,994	50.9%
		民間	8,401	68.2%	4,519	43.3%	△3,882	△46.2%
		計	12,320	100%	10,433	100%	△1,887	△15.3%

(2) 受注予想

項目	受注高	
2020年3月期 通期予想	32,500百万円	△14.6%
2019年3月期 通期実績	38,048百万円	21.1%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率